

## 第78号 平成13年7月4日

独立行政法人通信総合研究所鹿島宇宙通信研究センター 宇宙電波応用グループ発行

TEL 0299-84-7137 FAX 0299-84-7159

WWW URL http://www.crl.go.jp/ka/radioastro/index-J.html

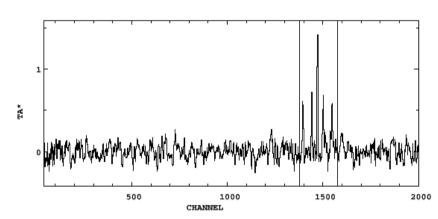
## 復活!! 鹿島AOS

鹿島34mアンテナにAOS (Acoustic Optical Spectrometer)(音響光学型分光計)が復活した。AOSとは光偏向素子を用いて周波数分光する装置で、微弱な星間分子のスペクトルを観測する有力な手段として世界各地で活躍している。今回、34mアンテナのバックエンドには高分散型(性能;帯域40MHz、周波数分解能37KHz)のAOS一組(下図)を設置した。



今回鹿嶋34mのバックエンドに設置されたAOSの光学系

Spectrum-id = 00001 ( DATE(M D Y) = 06 25 01P.A. = 0.000d Ref. coordinate = RA, DEC X offset = +00d00'00.0" RA (1950) = +15h51m32.7sY offset = +00d00'00.0" DEC(1950) = -02d40'51.0"Center freq. = 23.685273(GHz) AOS-H1 Integ time = 00h27m30s Baseline order = 07 Scaling factor = 1.00 integ. int. 1.4163[K] 1473.0[ch] 23694.254[MHz] 4.519[ch]



L183NでNH3分子輝線が検出。超微細構造線が5本きれいに分離して見えている

H13,6/25のテスト観測ではNH3輝線を検出する事に成功した。今後34mアンテナとのコンビで、様々な星間分子スペクトルが検出される事が期待される。

(S. M記)